『地域産業界連携教育力改革プロジェクト』概要説明

1

地域産業界連携教育力改革プロジェクトの概要

1．産業界ニーズに対応した教育改善・充実体制整備

本補助事業は、産業界ニーズに対応した人材育成を大学や短期大学などの高等教育機関で実施するための体制整備を進めるための補助事業として、平成24年度に文部科学省に創設された事業である（以下「産業界ニーズ補助事業と呼ぶ」）。中部圏では、「アクティブラーニングを通した教育力形成」「地域・産業界との連携力形成」を目的とした事業を 中部圏23大学の共同事業として申請して採択されている。中部圏23大学では、主に教育力を探求する「東海A（教育力）チーム」、産業界ニーズ把握方法を探求する「東海 B（産業界ニーズ把握）」、「北陸地域チーム」、「静岡地域チーム」の4グループに分けて、教育方法や産業界ニーズ把握方法について考え方や方法論を取りまとめるとともに、それらを共有することによって、教育力向上を目指す事業になっている。豊橋創造大学並びに豊橋創造大学短期大学部は「東海A（教育力）チーム」に所属して、アクティブラーニングによる教育の実質化を目指す教育体制整備を目標に事業展開することになっている。

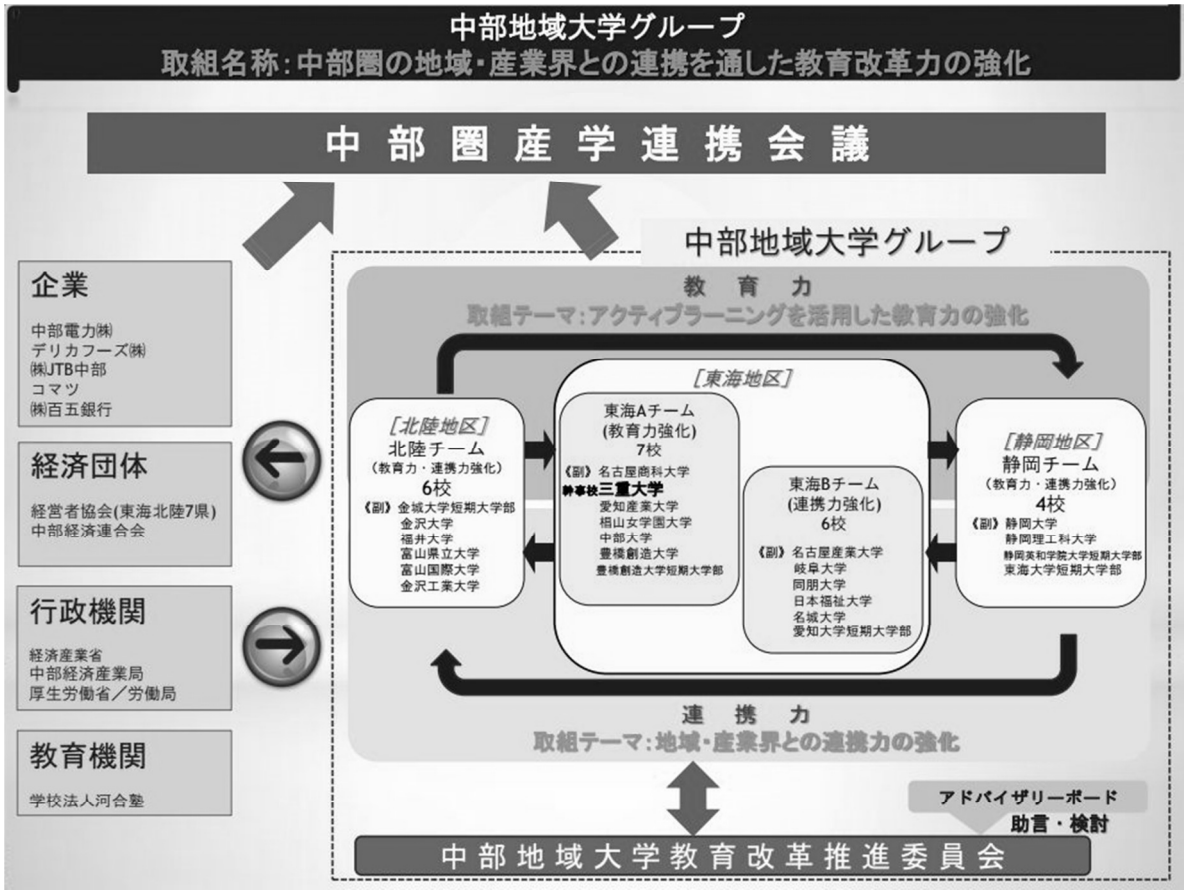

図 1.1 中部地域大学連携産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業関連WEBページ http://s-needs-chubu.pj.mie-u.ac.jp/

2. 地域産業界連携教育力改革プロジェクト

豊橋創造大学では、「産業界ニーズに対応した教育改善・充実体制整備」(産業界ニーズ補助事業)への参加にあたって、育成すべき資質とその教育体制および産業ニーズ把握方策について検討し、「地域産業界連携教育力改革プロジェクト」(以下、CKP と呼ぶ)として、教育体制整備・産業ニーズ把握体制の整備を推進することになった。

豊橋創造大学では、ディプロマポリシーで定める就業力育成を目指す。具体的には、社会人基礎力を養成できる教育システムの構築を行う。また、人材養成に関する産業界ニーズを把握する体制整備を行う。そのために

（Ⅰ）４つの教育事業

（１）メンタルタフネス講座

（２）自己理解促進プログラム

（３）地域企業連携プロジェクト

（４）三者間協働によるインターンシップ

（Ⅱ）教育体制整備・産業ニーズ把握体制の整備

（１）社会人基礎力育成体制の整備

・教育効果測定・指導方法検討 WG

・教育力向上研修会（３回）

・キャリア形成科目群などでの教育展開

（２）他大学との連携事業による教育方法の改善

（Ⅲ）教育体制・産業ニーズ把握体制の後方支援

（１）ICT 環境整備による学生の ICT 能力育成と各事業内省環境の整備

（２）大学コミュニティ形成による学生支援

の３つの機能を実行するグループを組織化した。これらの担当教員と事務職員で「地域産業連携教育力改革プロジェクト(CKP)」とその運営のための委員会を設置して、事業実施することになった。これらの機能全体を以下の図 1.2 にまとめる。

具体的な学生に対する教育展開方法を図 1.3 に示す。上記の３年生で実施する４つの教育事業に加えて、キャリア形成科目などからなる 14 科目においても社会人基礎力養成に取り組むことになっている。社会人基礎力に代表されるように態度、志向に関する育成には、学生生活における自身の内省が不可欠である。そのため、育成資質に関する評価を定期的に行い学生にフィードバックする機会を提供している。図 1.3 に教育プログラムと評価のタイミングがまとめられている。

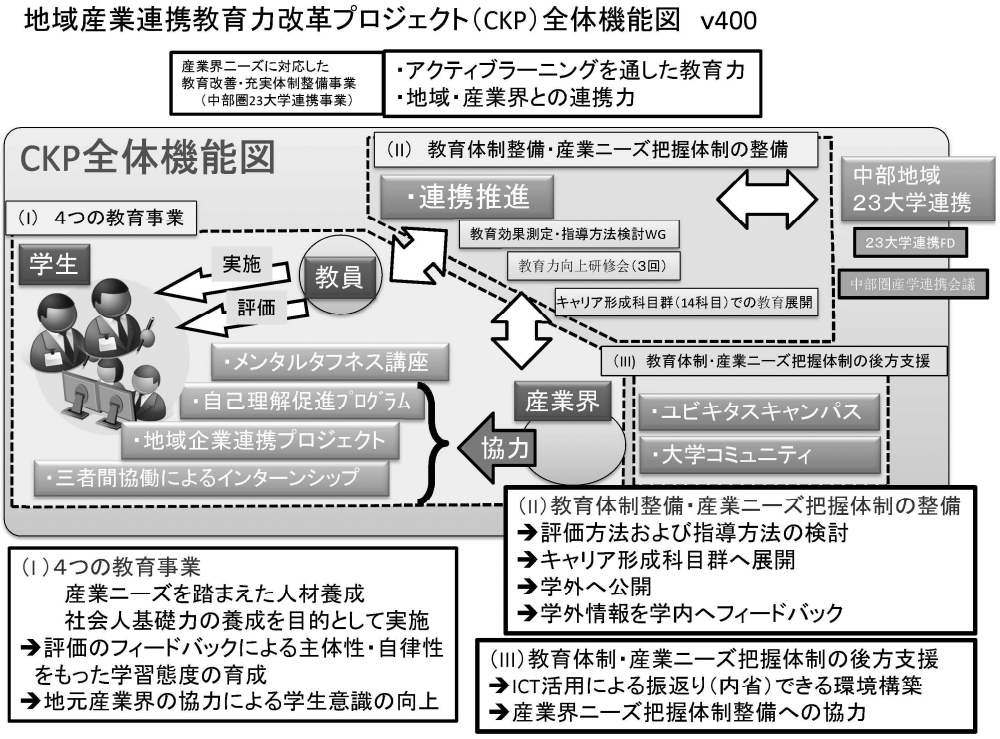

図 1.2　地域産業連携教育力改革プロジェクト（CKP）全体機能図

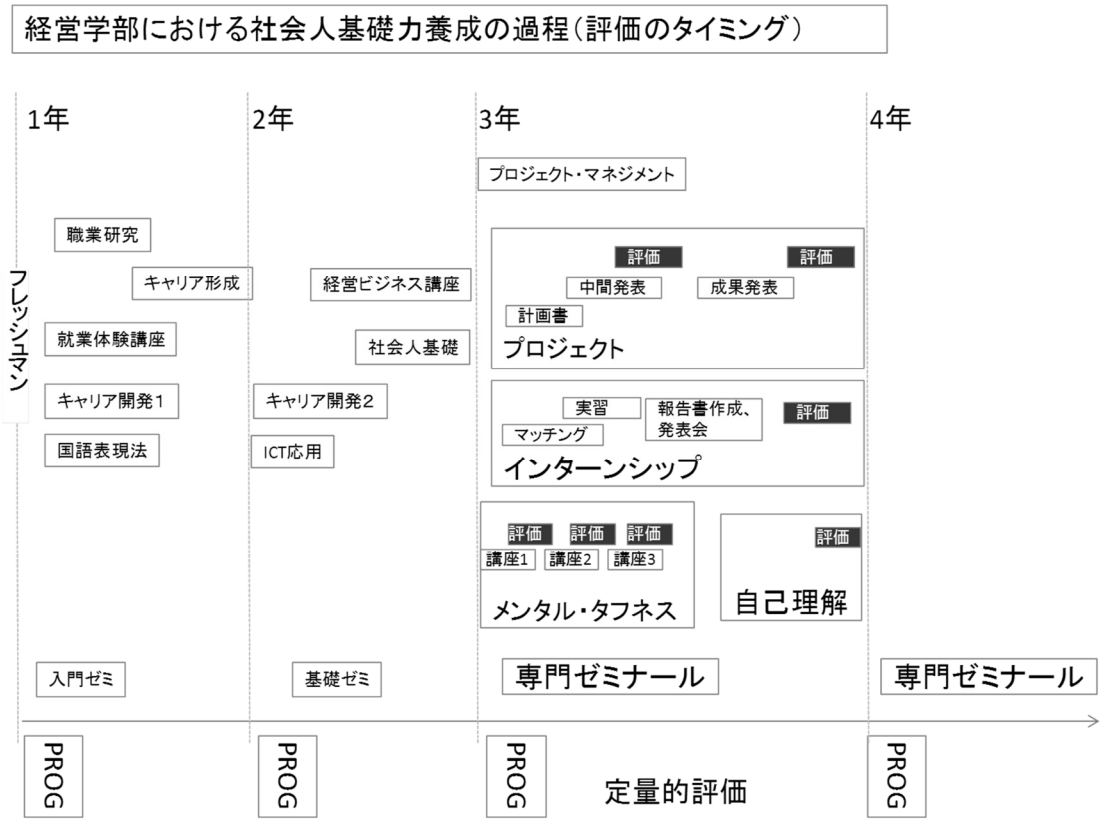

図 1.3　社会人基礎力養成のための教育プログラム

3. 地域産業界連携教育力改革プロジェクト実施体制

本学では「産業界ニーズに対応した教育改善･充実体制整備補助事業」を「地域産業界連携教育力改革プロジェクト（CKP)」として実施する。「アクティブラーニングを通した教育力形成」「地域･産業界との連携力形成」を目的として育成すべき資質の明確化とその教育体制整備および産業ニーズ把握方策のために、３つの機能を有したグループの役割を分離して組織化して事業展開を行う。

（Ⅰ）　４つの教育事業

・メンタルタフネス講座

・自己理解促進プログラム

・地域企業連携プロジェクト

・３者間協働インターンシップ

（Ⅱ）教育体制整備・産業ニーズ把握体制の整備

・連携推進

（Ⅲ）教育体制・産業ニーズ把握体制の後方支援

・ユビキタスキャンパス

・大学コミュニティ

これらの事業詳細は、次節以降で説明する。